

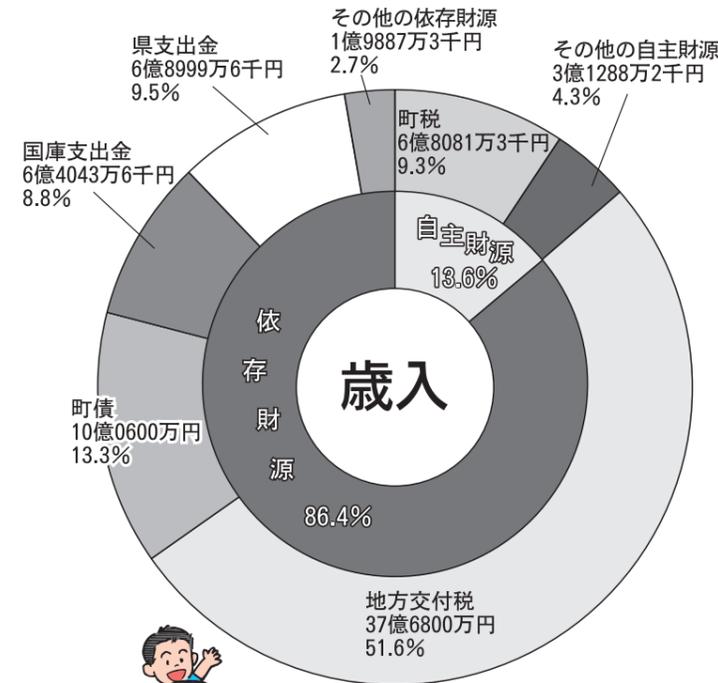
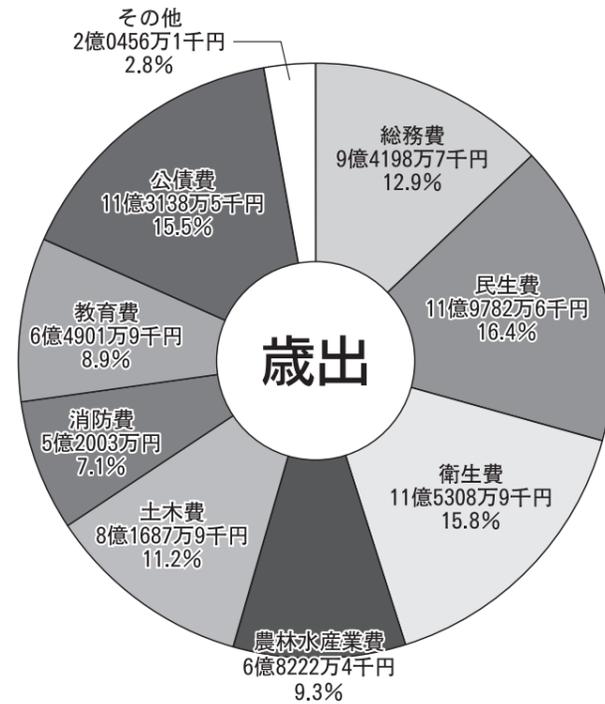
一般会計予算額 72億9700万円

町がさまざまなサービスを行うために、お金を出す根拠となるものは「予算」と呼ばれます。予算には、さまざまな分野で使われる「一般会計」と、特定の目的のみに使われる「特別会計」があります。今年度のサービス・まちづくりがどのように行われるのか。そのあらましをご紹介します。

歳 出 歳 入

〈用語の説明〉

- 総務費……選挙や戸籍、徴税、町の庁舎管理などの経費
- 民生費……高齢者や障害者、児童などの福祉に関する経費
- 衛生費……各種検診や予防接種、ごみ処理などの経費
- 農林水産業費…農林水産業の振興、農業用道路や水路の整備、農村環境整備などの経費
- 土木費……道路整備、除排雪、町営住宅整備などの経費
- 消防費……五所川原地区消防事務組合の負担金や消防団員の報酬、消防機器の管理などの経費
- 教育費……小中学校の管理、社会教育、生涯学習・体育の振興、文化財保護などの経費
- 公債費……町の借金である町債の返済などの経費



〈用語の説明〉

- 自主財源……町が自主的に得る収入
- 依存財源……国、県から定められた額を交付されたり割り当てられたりする収入
- 町税……町民の皆さまに納めていただく町民税や固定資産税などの税金
- 地方交付税…国から町に交付されるお金。国税である所得税、法人税、酒税、消費税、たばこ税の一定割合を町の財政力に応じて交付されます
- 国庫支出金…特定の目的の事業のために国が補助するお金
- 県支出金……特定の目的の事業のために県が補助するお金
- 繰入金……積立金の取り崩しなどのお金
- 繰越金……前の会計年度から次の会計年度へ持ち越したお金
- 町債……事業を行うために町が計画的に借りるお金



平成27年度はこんな事業を行います

- 小泊小・中学校スクールバス購入事業 (19,793千円)**
小泊小・中学校スクールバス運行委託費とバス購入費
- 特定教育・保育施設運営事業 (260,599千円)**
こども・子育て支援新制度に伴い、中里・小泊保育所を民営化し、地域の幼児教育・保育などを総合的に支援する事業です。また、保育料の無料化を実施します。
- 公営住宅建設事業 (330,389千円)**
若者定住に向けて、パルナス南側に予定している「もみじ団地」の建設。今年度は、6棟12戸の住宅を整備する予定です。
- 中里消防署ポンプ車更新事業 (42,704千円)、小泊消防署小型動力積載車更新事業 (15,292千円)**
中里・小泊消防署の老朽化したポンプ車等を更新します。
- 新おもてなしご当地グルメ開発事業 (5,443千円)**
深浦町、平内町に続く新ご当地グルメの開発をすすめます。
- 子ども医療費給付事業 (12,649千円)**
0歳～小学修学前までの医療費を無料化します。さらに、小～中学生までの医療費の無料化を地方創生事業(H26年度3月補正予算)で実施します。
- 合併10周年記念事業 (12,000千円)**
町民の一体感を醸成するためイベント「音楽演奏会、環境フォーラム」など予定
- 新庁舎建設事業 (76,715千円)**
役場移転に伴う設計監理費・本体工事費など(2か年の継続事業として計上)
- 農地中間管理機構事業 (49,657千円)**
農地中間機構を活用した貸借による集積を積極的に進めます。

特別会計の予算額

(単位：千円)		(単位：千円)		
国民健康保険(事業勘定)	2,469,029	特別養護老人ホーム静和園事業	347,300	
国民健康保険(診療施設勘定)	170,091	後期高齢者医療	257,522	
介護保険事業	1,579,043	水道事業	収益的収入	376,475
農業集落排水事業	40,364		収益的支出	291,260
漁業集落排水事業	21,254		資本的収入	500,000
			資本的支出	683,804

医療保険や上・下水道など特定の目的のみに使われる特別会計は、7つあります。特に国民健康保険や介護保険、後期高齢者医療保険、水道事業など、町民の皆さまに身近なものが、特別会計で処理されています。